



防災・震災の取組と避難所運営、中央通り改良と商業振興について

齊藤 晋一 議員



質問 迅速性が求められる避難所開設について伺います。

答 ファーストミッションボックスの普及や防災士の取組をサポートします。

質問 家庭での備蓄や非常持出品の重要性に対する啓発について伺います。

答 出前講座等にて積極

的に周知を行っています。

質問 備蓄機材は誰でも即座に使用できなくては困ります。機材の取扱いについて伺います。

答 機材取扱いの独自マニュアル等は作成していませんが、先進事例を参考に今後研究していきます。

質問 各地域で行われている

防災訓練の実施状況について伺います。

答 今年度は33件が実施され、主に避難、初期消火、応急手当で、炊き出しの訓練が行われています。

要望 啓発に留まらず、防災ピクニックや家庭内防災キャンプの体験、使いながら備蓄、非常食の調理技術や知識の提供を要望します。

質問 災害発生時に常時携帯している小型通信機器を活用しての情報提供、災害教育について伺います。



台風19号への対応と防災対策について

篠木 正明 議員



質問 台風19号では、避難所がいつばいで断られた人もいました。避難勧告等の対象者全員を収容できる避難所の設置は困難だと思います。避難所に入れないことも想定して、各家庭で避難の仕方を話し合ってもらうことが必要だと思いますが、どう考えますか。

答 水害の場合は、全員を収容することは難しいと考えています。ハザードマップの説明会で広域避難等を周知しています。

質問 避難勧告等の対象は1万2千人で避難した人は1千人でした。避難しなかった人はどうしていたのか、アンケートなど調査すべき

答 本市独自のアプリ開発でなく、既存のアプリの導入を検討しています。

質問 中央通り線改良工事の進捗状況をお伺いします。

答 県から用地買収の業務委託を受け、地権者に用地協力をお願いしています。

質問 道づくり会議を受け、どのような道路整備を考えているのか、お伺いします。

答 整備の方向性を7項目定め、歩いて・休んで楽しい道路をコンセプトに整備計画を決定しました。

質問 本町通り線改良工事の反省を中央通り線にどう生かすのか、お伺いします。

答 事業の長期化を反省して事業を進めています。

質問 改良工事に伴う商業振興についてお伺いします。

答 今年度中央通り線プロジェクトを設置し、ワークショップ形式の懇談会を開催しています。関係部局との連携を図りながら、まちなかの活性化に向けて検討していきます。

答 すでに避難勧告対象地区の区長さんに話を聞きました。これをもとに、アンケートをして防災減災に役立てたいと思います。

質問 情報伝達の方法では防災ラジオが有効だったとの声があります。防災ラジオについて、どのような検討をされているのですか。

答 情報伝達は多重化・多様化を図る必要があります。携帯電話網を活用した防災情報伝達システムと併せて、高齢者への防災ラジオの貸与について検討しています。

質問 利根川の水位が上昇しているにも関わらず、雨が止むと避難者が帰宅してしまいました。職員と避難者の認識のずれがあり、避難者に川の水位等の情報が伝わっていなかったことが一因だと思います。避難スペースにテレビアンテナの

配線等をしておき、避難所開設時に公民館の事務室や校舎にあるテレビを設置すれば情報共有ができると思います。そのような整備をする考えはありますか。

答 避難所となった体育館等に避難者との情報を共有するためのメディアがなかったことは一つの課題です。テレビがあれば危険だと伝えられたと思います。今後、関係部署と防災上の面からも検討したいと考えています。